

健康と信頼をお届けする



日清製粉グループ

結ぶ心、 つなげる未来

日清製粉グループ
社会・環境レポート2014



日清製粉グループの経営理念

企業理念

日清製粉グループは「信を万事の本と為す」と「時代への適合」を社是とし、「健康で豊かな生活づくりに貢献する」ことを企業理念として、生活産業をグローバルに展開してゆきます。

日清製粉グループの企業行動規範・社員行動指針

1. 健全な事業活動と持続的な発展
2. 安心・安全で高品質な製品・サービスの開発と提供
3. 人間性の尊重
4. 社会規範の遵守と公正な企業活動の推進
5. 適切な広報活動の推進
6. 環境保全の推進
7. 社会貢献活動の推進
8. 現地に根ざした海外事業の推進
9. 本規範及び指針の実現に向けての経営者の役割と責任

【日清製粉グループの企業行動規範】 <http://www.nisshin.com/csr/vision/model.html>

【日清製粉グループの社員行動指針】 <http://www.nisshin.com/csr/vision/principle.html>

お読みいただくにあたって

日清製粉グループでは、ウェブサイト「CSRの窓」と「社会・環境レポート」(本冊子)の2つの媒体を通じて、ステークホルダーの皆様当社グループの社会的責任に対する姿勢や取り組みをお伝えしています。

「CSRの窓」はCSRに関する取り組みの全体を紹介し、本冊子では当社グループが重要と考える課題に対する具体的な取り組みを中心に、わかりやすさに配慮して紹介しています。

参考にしたガイドライン

GRI「サステナビリティ レポーティング ガイドライン」第4版
環境省「環境報告ガイドライン」(2012 年版)
ISO26000「社会的責任に関する手引」

報告範囲

【対象期間】

2013年度(2013年4月1日～2014年3月31日)の事象について報告しています。

【対象組織】

原則として(株)日清製粉グループ本社および連結子会社・持分法適用関連会社合計57社(2014年3月末現在)を対象としています。グループ全体の情報を十分に把握できていない事象については、報告の都度、対象組織を明示しています。なお環境報告の対象範囲は、(株)日清製粉グループ本社および連結子会社合計47社となっています。

報告対象期間に発生した事業変更など

- ・ベトナムに新会社 Vietnam Nisshin Seifun Co., Ltdの設立を決定(2013年6月)
- ・日清製粉(株)知多工場の新ライン増設に着工(2013年10月)
- ・2015年4月完工予定で日清製粉(株)東灘工場に隣接する阪神サイロ(株)の原料小麦サイロ収容力25%増強を決定(2013年12月)
- ・トルコに合弁会社 Nisshin Seifun Turkey Makarna Ve Gida Sanayi Ve Ticaret A.S.を設立し、2015年4月稼働予定でパスタ工場を建設することを決定(2014年1月)
- ・マ・マーマカロニ(株)神戸工場に2015年5月稼働予定で冷凍食品新工場を建設することを決定(2014年1月)
- ・日清製粉(株)福岡工場が完成(2014年2月)

ステークホルダーの呼称について

本レポートでは、「お客様」とは、「消費者の皆様」および「お得意様」を指しています。

発行日について

2014年8月

お問い合わせ先

(株)日清製粉グループ本社 技術本部 環境管理室
TEL 03-5282-6570 FAX 03-5282-6155

ステークホルダーの皆様から積極的に支持され続ける企業を目指し、自己革新を進め、社会に貢献してまいります。

中期経営計画の進捗状況

当社グループは、創業120周年となる2020年を見据えた長期的な視点に立ち、トップライン(売上高)の拡大と海外事業の拡大を最優先戦略とする中期経営計画「NNI-120、スピードと成長、拡大」に取り組んでおります。2年目となる昨年度も、各事業におきまして積極的な販売促進施策を推進しました。海外展開においても、M&Aにより取得した子会社の連結効果や生産能力増強に加えて、グループ各社で積極的な出荷拡大施策を進めました。食品事業では、パスタの生産体制を一層強化し、さらなる事業拡大を実現するため、トルコに合併会社を設立し、2015年4月稼働予定でパスタ工場を建設することを決定しました。併せて、マ・マーマカロニ株式会社神戸工場に、2015年5月稼働予定で冷凍食品新工場を建設することを決定しました。製粉事業においては、コスト競争力強化策として建設を進めていた福岡工場が本年2月に予定通り稼働し、2015年5月稼働予定の知多工場の新ライン増設工事も順調に進捗しております。

3年目となる本年度も、米国のMiller Milling Company, LLCが新たに米国内の製粉4工場を買収することを決定し、5月には工場資産の譲り受けを完了しております。本年度も、中期経営計画の取り組みを加速し、近い将来の数値目標である売上高1兆円、海外売上高比率30%以上の達成を目指してまいります。



CSRへの取り組み

当社グループは、コンプライアンスの徹底、品質保証体制の確立、環境保全活動の推進等、社会の要請に応えるCSRを経営の最重要課題の一つと位置付け、グループ全体で推進しながら常に自己革新を進めることにより、ステークホルダーの皆様から積極的に支持され続ける企業を目指しております。

品質保証につきましては、安全・安心な製品をお届けするために食品安全に加え、食品業界にとっては喫緊の課題である食品防御(フードディフェンス)を強化しております。また、消費者の皆様意識や社会の潮流を見極め、備えるべき事項や対策を適時、適切に指示する役割を担うCR室が、消費者の皆様の声や消費者行政関連の情報を的確かつ積極的に収集し、消費者の皆様への対応の充実を図っております。さらには国民の主要食糧である小麦粉等の安定供

給を確保するために、BCP(事業継続計画)により災害等への備え等も拡充しております。

環境保全につきましては、「日清製粉グループ環境基本方針」に基づき、省エネルギー、廃棄物の削減等、電力問題への対応を含め環境負荷の低減に積極的に取り組んでおります。

さらに当社グループは社会の一員として、広く社会貢献活動に取り組み、東日本大震災被災地の復興支援の継続、歴史的企業文化施設「製粉ミュージアム」による地域観光資源や教育資産としての地域貢献にも取り組んでおります。また、公益財団法人食生活研究会を通じて、食料及び食生活に関する研究者や研究機関への助成等も引き続き実施することで、健康で豊かな食生活の向上に寄与してまいります。

CSR活動は社員一人ひとりの誇りと自信から

当社グループは、社員一人ひとりが、法令順守、食品安全、環境保全等の社会的責任を果たし、ステークホルダーの皆様から積極的に支持され続ける企業であることを目指して努力を重ねてまいります。さらに中期経営計画で全社員に求めている姿勢「Fight, Speed & Change!」をキーワードに、全社員が会社の置かれている環境認識、進むべき方向性について常にベクトルを合わせ、アクセルとブレーキが効いた「戦う組織、戦う集団」として一人ひとりが当社グループの一員であることに誇りを持ち、自信を持って仕事に取り組んでいく企業を目指してまいります。



株式会社日清製粉グループ本社
代表取締役
取締役社長

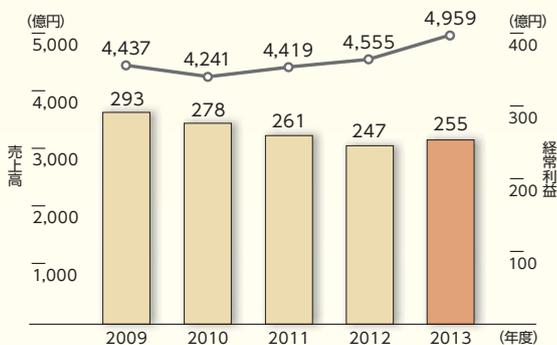
大枝 宏之

事業概要

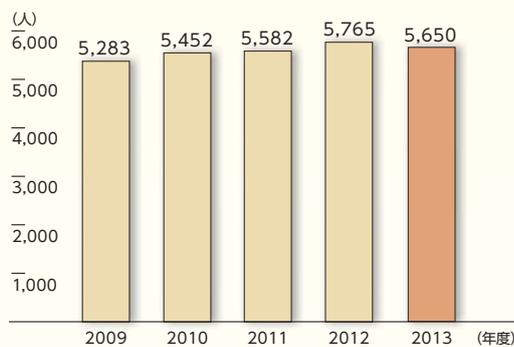
日清製粉グループは、2001年7月に分社し、現在は、持ち株会社である(株)日清製粉グループ本社を中心に、114年の歴史を持つ「製粉事業」と、製粉事業を通じて培った技術を起点に「加工食品」「中食・惣菜」「酵母・バイオ」「健康食品」「ペットフード」「エンジニアリング」「メッシュクロス」の分野で事業戦略を展開しています。

社名／株式会社日清製粉グループ本社
 所在地／東京都千代田区神田錦町一丁目25番地
 創業／1900年(明治33年)10月
 資本金／17,117百万円
 発行済株式の総数／276,688,992株
 2014年3月31日現在

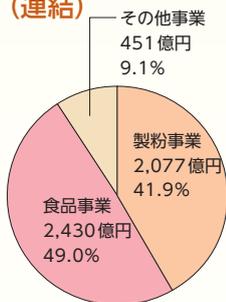
売上高(連結)・経常利益(連結)



グループ従業員数(連結)



セグメント別売上高(連結)



従業員の状況(連結)※

	従業員数(人)
製粉事業	1,397 [72]
食品事業	3,205 [1,490]
その他事業	663 [320]
全社(共通)	385 [58]
合計	5,650 [1,940]

※従業員数は就業人員であり、臨時従業員は[]内に年間の平均人員を外数で記載しています。

製粉事業

国内小麦粉市場において、パン・麺・菓子用など幅広いラインナップにより約4割の小麦粉を供給しています。さまざまなお客様の商品コンセプトに基づいた小麦粉の提案や新しい食文化の創造にも取り組んでいます。また、海外展開にも積極的に取り組んでおり、アメリカ、カナダ、タイ、ニュージーランドにおいて小麦粉の製造・販売を行っております。



食品事業

加工食品事業

ミックス類やパスタ・パスタソース、乾麺などの小麦粉二次加工品を中心に、家庭用・業務用それぞれの市場において、「常温」「冷凍」の2つの温度帯の製品を販売しています。



中食・惣菜事業

和のおかずやサラダといった惣菜を製造し、パック詰めにした商品を販売。主に量販店の惣菜売り場にて季節の味をお届けしています。



酵母・バイオ事業

製パン・製菓業界向けにイースト、フィリング、マヨネーズといった多様な素材を提供しています。また、80有余年にわたり培った培養技術を生かし、診断薬原料や医薬品の研究開発支援サービスなども提供しています。



各種イースト

健康食品事業

お客様のニーズを捉えた安全・安心な栄養補助食品、トクホ、健康食品の他、固有技術を生かした高品質な医薬品原薬、医薬品製剤事業を展開しています。



その他事業

ペットフード事業

大切な家族の一員であるペットには、すこやかに暮らし、長生きしてもらいたい、というペットオーナーの願いに応えるため、安心かつ高品質なペットフードの研究・開発から製造、販売、そしてアフターフォローまでのペットライフを総合的にサポートしています。



エンジニアリング事業

食品・医薬品・化成品などの製造設備から工場建設にいたるまでの広範囲な「エンジニアリング事業」のほか、世界レベルの高度な粉体加工技術を用い、「機器製作販売事業」「粉粒体加工事業」を展開しています。



大型穀物サイロ

メッシュクロス事業

メッシュテクノロジーをコアに、スクリーン印刷用メッシュクロスの製造をはじめ、抗ウイルス・抗菌性を持つ「キュフィテック」製品の開発など、独自の高付加価値化技術をあらゆる産業分野へ展開しています。



スルザー織機群

製品のご紹介

マ・マー 早ゆでマカロニ チャック付

「マ・マー早ゆでマカロニ」シリーズは、便利で使いやすいチャックが付いています。「ゆで時間」をわかりやすく表示することで、「早ゆで」タイプであることも大きく表現しました。「マ・マー早ゆでマカロニ」シリーズには4種類の形があり、用途に応じて選べる楽しさもあります。



製粉事業

- 日清製粉株式会社
- フレッシュ・フード・サービス株式会社
- ヤマジョウ商事株式会社
- ミラー・ミリング・カンパニー LLC (アメリカ)
- チャンピオン製粉 Ltd. (ニュージーランド)
- ロジャーズ・フーズ Ltd. (カナダ)
- 日清STC製粉 Co., Ltd. (タイ)
- NSTCトレーディング Co., Ltd. (タイ)
- 石川株式会社

食品事業

加工食品事業

- 日清フーズ株式会社
- 日清製粉プレミックス株式会社
- マ・マーマカロニ株式会社
- イニシオフーズ株式会社
- 大山ハム株式会社
- タイ日清テクノミック Co., Ltd. (タイ)
- 新日清製粉食品 (青島) 有限公司 (中国)
- PT. インドネシア日清テクノミック (インドネシア)
- メダリオン・フーズ Inc. (アメリカ)
- タイ日清製粉 Co., Ltd. (タイ)
- ベトナム日清製粉 Co., Ltd. (ベトナム)
- トオカツフーズ株式会社

酵母・バイオ事業

- オリエンタル酵母工業株式会社
- 株式会社パニーデリカ
- 株式会社OYCフーズネット
- 株式会社日本バイオリサーチセンター
- 北山ラベス株式会社
- 株式会社オリエンタルバイオサービス
- 株式会社ケービーティーオリエンタル
- OYC アメリカ Inc. (アメリカ)
- OYC ヨーロッパ B.V. (オランダ)

健康食品事業

- 日清ファルマ株式会社

その他事業

ペットフード事業

- 日清ペットフード株式会社

エンジニアリング事業

- 日清エンジニアリング株式会社

メッシュクロス事業

- 株式会社NBCメッシュテック
- 株式会社NBCメタルメッシュ
- PT.NBC インドネシア (インドネシア)
- ダイナメッシュ Inc. (アメリカ)
- 恩美絲 (上海) 紗網貿易有限公司 (中国)

配合飼料事業

- 日清丸紅飼料株式会社

その他

- 日本ロジテム株式会社
- 日清サイロ株式会社
- 阪神サイロ株式会社
- 千葉共同サイロ株式会社
- 信和開発株式会社

持株会社

株式会社日清製粉グループ本社

- 日清アソシエイツ株式会社
- 錦築 (煙台) 食品研究開発有限公司 (中国)

他 連結子会社6社、持分法適用会社4社

●…連結子会社、○…持分法適用会社 (2014年3月31日現在)

ステークホルダーに積極的に支持される企業グループであり続けるために

中期経営計画「NNI-120、スピードと成長、拡大」を推進

日清製粉グループは、2012年4月から中期経営計画「NNI-120、スピードと成長、拡大」を推進しています。食品業界をとりまくさまざまな環境変化に対応し、今後も主要食糧である小麦粉等の安定供給を確保し、安全な製品を供給するという当社グループの社会的使命を果たしながら、ステークホルダーから積極的に支持される企業グループであり続けるため、戦略的な施策を展開しています。

北米における製粉事業の拡大

海外生産能力が約50%に拡大し、国内生産規模に匹敵

日清製粉の米国子会社であるMiller Milling Company, LLC (以下、「ミラー・ミリング社」)は、米国のカーギル社、ホライズン・ミリング社、コナグラ社の3社から、米国の4製粉工場を取得しました。

新規取得4工場



オークランド工場 (カリフォルニア州)



ニュープラーク工場 (ミネソタ州)



ロサンゼルス工場 (カリフォルニア州)



サギノー工場 (テキサス州)

これによりミラー・ミリング社は既存工場とあわせて6工場となり、全米第4位の製粉会社へ躍進し、日清製粉の海外生産比率は50%に拡大します。

このことは、当社グループの成長戦略を加速するだけでなく、北米における原料購入数量が大幅に増加し、取り扱う原料小麦の種類・品種・生産地域等が多様化することで、これまで以上に幅広く原料情報の入手やノウハウの習得等が可能となります。本取得により、北米での製粉事業の拡大を加速させるとともに、今後も海外事業展開により一層注力していきます。

加工食品事業のグローバル化

日清フーズがベトナムに進出

(株)日清製粉グループ本社と日清フーズは、日本国内向けの供給拠点並びに将来的なASEAN地域の市場開拓を目的として、2013年6月にベトナムのホーチミン市近郊にベトナム日清製粉を設立し、2014年秋の稼働予定で調理加工食品(パスタソース等レトルト食品)の生産工場建設を進めております。近年、ベトナムは質の高い豊富な労働力を武器に加工食品基地としてもめざましい成長を遂げています。日本で長年にわたり培ってきた製造・品質管理ノウハウを最大限活用することにより、日本国内向けパスタソースの生産を皮切りに、高品質の製品を供給していきます。

トルコに合併会社を設立・パスタの生産体制を強化

(株)日清製粉グループ本社と日清フーズは丸紅(株)及びトルコ共和国最大のパスタメーカーであるヌフン・アンカラ社との間で合併会社・トルコ日清製粉を設立し、2015年4月稼働予定でパスタ工場の建設を決定しました。トルコは、小麦をはじめとした多様な農産物の産地であり、特にパスタの原料となるデュラム小麦の発祥の地ともいわれる世界有数の産地です。世界各地への重要な輸出拠点である優位性を活かすことで、ヨーロッパやアジア、そしてアフリカなど海外マーケットへのパスタ製品の販売を強力に推進していきます。

また、お客様から高評価をいただいている冷凍パスタの供給体制を強化するため、マ・マーマカロニ神戸工場に2015年5月稼働予定で、冷凍食品新工場の建設を決定しました。加工食品事業の基幹製品群であるパスタの生産体制を一層強化し、さらなる事業拡大を実現していきます。

グローバルに展開する日清製粉グループ



国内製粉工場の臨海部への生産集約と供給能力増強

最新鋭の福岡新工場が稼働

2012年5月から、福岡市中央区の須崎埠頭に建設を進めてきた日清製粉福岡工場が2014年2月に完成しました。福岡工場は2ラインの最新鋭製造設備を有し、ローコストオペレーション体制により、高い競争力を実現します。また最新の技術・ノウハウを活用するとともに、製品の安全・安心レベル及び建物の耐震強度を十分に確保し、さらに環境面にも万全の配慮をしています。福岡工場の完工とともに、内陸部の鳥栖工場 (佐賀県鳥栖市) と筑後工場 (福岡県筑後市) を閉鎖することで、臨海大型工場への生産集約による生産性向上を実現し、九州地区に安定的・効率的な小麦粉の供給を行っていきます。



福岡工場の外観 (手前:自動倉庫棟、奥:製造棟)



最新鋭の製造設備 (ロール機)

知多工場最新鋭ラインの建設に着工

日清製粉は、2013年10月、臨海部に位置する知多工場 (愛知県知多市) の新ライン (1日当たり小麦挽砕能力320トン) 増設に着工し建設を進めています。この新ライン稼働後には内陸部に位置する名古屋工場の小規模な2ラインの操業を停止し、臨海工場で生産性の高い知多工場への生産集約を進めていきます。新ラインは生産効率を最大限に高め、また、BCP (事業継続計画) も考慮した最新鋭の設備で、高品質の小麦粉を安定的に生産するとともに、製造本館は微陽圧技術を活用した無窓建物とするなど、製品の安全・安心への取り組みを一層強化していきます。



新ライン増設後の知多工場 (完成予想図)

関西地区の原料小麦サイロ収容力を増強

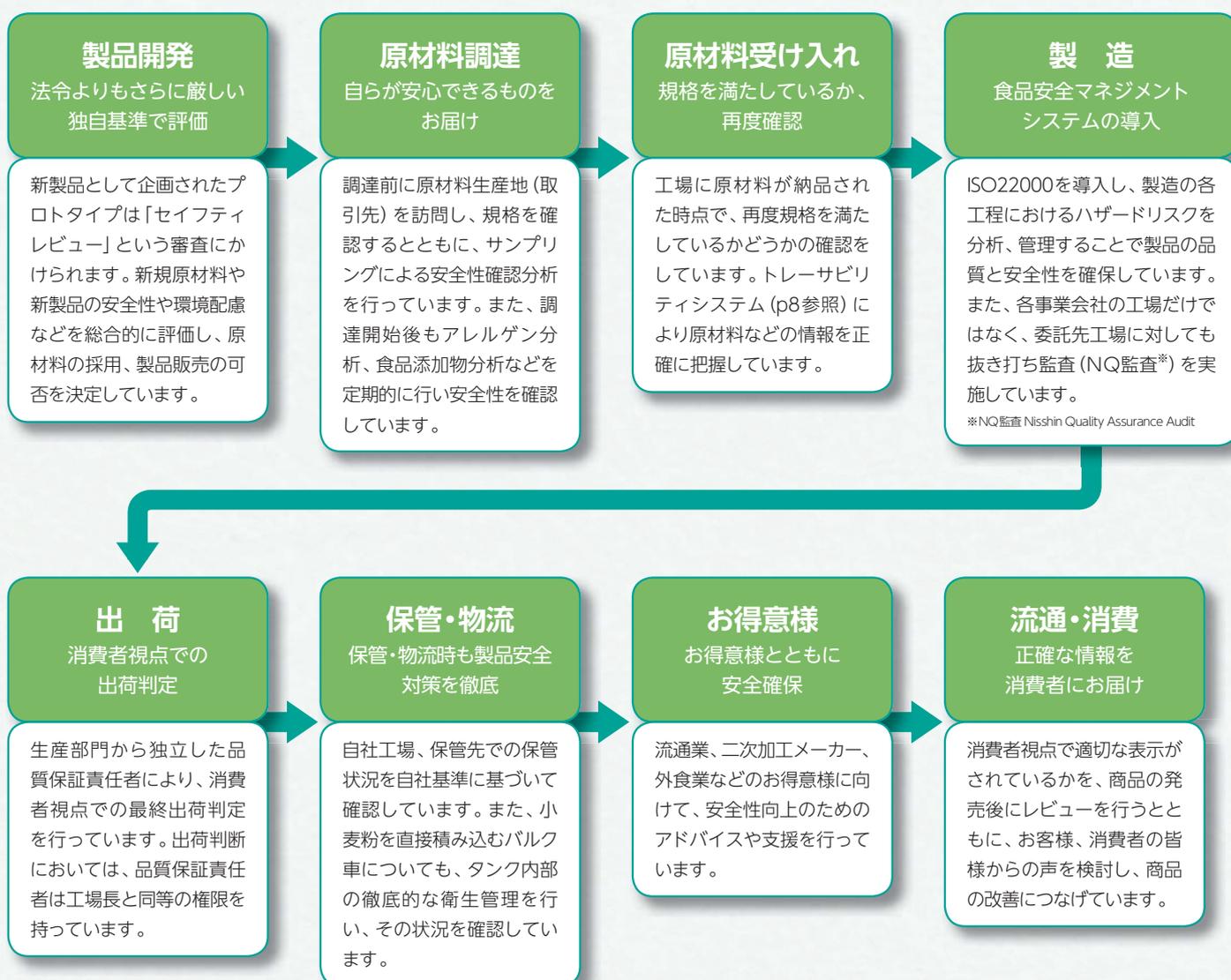
関西地区の大型臨海工場である日清製粉東灘工場の原料小麦を保管、供給する役割を担う阪神サイロは、2015年5月完工を目指して、収容力20,000トンの原料小麦サイロの増設に着工しました。既存サイロに隣接して、原料小麦サイロを増設することで、従来以上に需要に即した原料小麦の確保と保管、安定供給を行うとともに、東灘工場と一体となって、より効率的なサイロ運営を実現します。

「安心」で選ばれる製品を目指して

日清製粉グループは、消費者の皆様においしく、安心・安全な食品を提供することを、何よりも大切に考えています。消費者の皆様は、心から食を楽しんでいただくため、小麦粉、ケーキミックス、パスタ、冷凍食品、健康食品など、さまざまな分野での安全の確保に取り組んでいます。

開発・調達から流通まで一貫した品質保証

食の安心のために、製品開発、原料調達から製造、物流にいたるまですべての工程で食品防御（フードディフェンス）を含めた安全性の確保に努め、消費者視点での品質保証を最優先に行っています。



品質保証責任者研修



検査装置の実習



製造工程での品質管理



最終出荷判定

食の安全のためのさまざまな取り組み

食品安全マネジメントシステムの認証取得

日清製粉グループは、国際規格である食品安全マネジメントシステムISO22000の導入に取り組んでいます。

2014年2月には、新たにオリエンタル酵母工業とパニーデリカが認証を取得しました。

※ISO22000：食品衛生管理で世界的に認められているHACCPの食品安全ハザードリスク分析の手法を取り入れた新しい食品安全マネジメントシステム。

グループ各社の認証取得状況

取得年月	取得会社名
2005年11月	日清製粉(株)が、本社と国内11工場を一体としたマネジメントシステムを構築し認証を取得。(食品メーカーとしては国内初)
2007年	日清フーズ(株)、マ・マーマカロニ(株)、イニシオフーズ(株)が相次いで認証を取得。
2008年8月	日清製粉グループの海外事業場で初めて、新日清製粉食品(青島)有限公司が認証を取得。
2014年2月	オリエンタル酵母工業(株)、パニーデリカ(株)が認証を取得。

AIB食品安全統合基準による審査

AIB食品安全統合基準は、AIB(American Institute of Baking アメリカ製パン研究所)が開発した食品安全指導・監査システムです。監査では原料の受け入れから製品の出荷まで、生産現場を中心に安全な製品を供給する体制が整っているかを確認します。日清製粉グループでは2001年から取り組みを開始し、多くの工場で製品安全管理水準の維持・向上に活用しています。

上田工場で「健康補助食品および原材料GMP[®]」認定を取得

日清ファルマ上田工場は、公益財団法人日本健康・栄養食品協会から「健康補助食品および原材料GMP」の認定を取得しました。「健康補助食品および原材料GMP」は、原料の受け入れから包装、出荷までの全工程にわたり製造と管理の基準を示したガイドラインで、同協会が製造所の製造管理・品質管理のガイドラインへの適合状況を審査しています。厚生労働省は2012年3月から消費者に対して、健康補助食品を購入する際、GMP認定工場で製造されたものを推奨しています。

※ GMP (Good Manufacturing Practice) は、製造管理および品質管理に係る規範、基準の略。



[GMP 証書]

社員の意識を高める品質保証研修

食の安全性の確保には、何よりも社員の安全への意識づけが必要です。日清製粉グループでは毎年、各事業会社の研究開発・生産・営業業務にたずさわるすべての役員・社員を対象に品質保証研修を実施。品質保証に対する理解を深め、日常業務での実践を徹底するために、一般的な衛生管理の方法から、当社グループの規範やルール、業界や行政の動向と関連規制の状況に至るまで、食品の安全に関する幅広い知識を学んでいます。

トレーサビリティの確保

日清製粉グループでは、使用原材料・製造・保管・物流等に関する各種データの記録管理を行うトレーサビリティ(生産履歴管理)の確保に努めています。これにより、正確で詳細な情報管理による「情報の信頼性」、そして万が一、事故が発生した際の迅速な原因究明や商品回収などの「食品の安全確保」の向上を図っています。

たとえば、当社グループのミックス工場ではすべての原材料に個々の原料情報を取り込んだバーコードラベルを貼り付けて、識別を行っております。原料の投入時にバーコード情報を読み込むことで、製品に使われたすべての原料の履歴を管理しています。このシステムの運用により、製品から原料を遡及するトレースバック、原料から製品を追跡するトレースフォワードとともに正確かつ短時間に行うことが可能です。

安心・安全への取り組みスペシャルサイト「あんしんの礎」をリニューアル

日清製粉グループのホームページにあるスペシャルサイト「あんしんの礎」では、開発・調達から流通まで一貫した品質保証について、動画や写真をまじえてわかりやすくご紹介しています。



スペシャルサイト「あんしんの礎」
<http://www.nissin.com/csr/anshin/>

ステークホルダーの 皆様との対話

日清製粉グループは、さまざまな機会を通じてステークホルダーの方々とコミュニケーションを図りながら、各ステークホルダーから積極的に支持され続けるグループになるよう努めています。

消費者の皆様と

消費者団体との意見交換

日清製粉グループは、消費者団体の皆様と対話ができる関係づくりの第一歩として意見交換会を実施しています。2013年6月には三鷹市消費者活動センターの方々と、11月には東京都地域婦人団体連盟の方々を日清製粉鶴見工場にお招きし、見学・意見交換会を実施しました。8月には、日清製粉知多工場、日清サイロ知多事業所で初めての意見交換会を、全国消費生活相談員協会、日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会に加盟するの方々をお招きして開催しました。製造工程の見学により、製品安全への取り組みへの理解を深めていただくとともに、消費者の方々が日ごろ疑問に思われていることに対して活発な意見交換を行いました。



鶴見工場での見学の様子



知多工場での見学の様子

消費生活センターでの講習会

2013年10月、福井県消費生活センターにて、福井県消費生活研究会の方々に、小麦と小麦粉に関する消費者セミナーを実施しました。生産・需給状況、製粉工程につ



実験の様子



セミナーの様子

いての講義と意見交換とともに、小麦粉を使用した実験を行い、強力粉と薄力粉の性質の違いについて体感していただきました。

「くらしフェスタ東京2013」に出展

日清製粉グループは、東京都が毎年10月の“消費者月間”に「くらしフェスタ東京」として実施しているイベントのひとつ、「見て、聞いて、話そう！交流フェスタ」に出展しました。“小麦がつなぐいのちとみらい”をテーマに、小麦、小麦粉についての説明や、環境配慮型商品“マ・マー 早ゆでスパゲティ”の紹介を行いました。2日間に多くの方にお越しいただき盛況でした。



原料小麦や製品にふれられる展示コーナーでの説明の様子

「Kona フェスタ2013」を開催

小麦粉を使った食を楽しみ、遊びながら小麦粉を学び、親しみきっかけとなる体験型イベント「日清製粉グループ Kona フェスタ2013」を10月に国営昭和記念公園(立川市)で開催しました。会場では、石臼で小麦粉をひく体験や小麦粉粘土に触れていただけるコーナーを設け、またお好み焼・たこ焼・パンケーキの料理教室を開催して小麦粉を身近に感じていただくことができました。



石臼での粉挽き体験



パンケーキ教室

創・食Clubのベーカリー紹介サイト「PANPOTA!」を開設!

ベーカリー、菓子店、製麺業者などの小麦粉を使用しているお客様向け会員制事業「創・食 Club」は、パン好きな生活者にお気に入りのベーカリーを見つけていただくためのウェブサイト「PANPOTA!」を2014年3月に開設しました。

WEB: PANPOTA!
<http://www.panportal.jp/>



次世代を担う子どもたちと

「子ども霞が関見学デー」に出展

日清製粉グループは、農林水産省が2013年8月に開催した「子ども霞が関見学デー」に出展しました。農林水産省内に設けられた展示コーナーでは、小麦と小麦粉の種類や北海道小麦センターの活動を紹介し、体験コーナーでは、映像によるバーチャル工場見学や、石臼での製粉体験を実施しました。日頃は触れる機会が少ない主要穀物としての“小麦”と身近な食の“小麦粉”について、来場した子どもたちに理解を深めてもらえるよい機会となりました。



大勢の小学生が参加



石臼での粉挽き体験

エコプロダクツ 2013に出展

日清製粉グループは、2013年12月に東京ビッグサイトで開催された環境展示会「エコプロダクツ2013～今つくる地球の未来～」に出展しました。今回は、“はじめる、つながる、小麦粉ライフ”をテーマに、環境に配慮した製品を紹介するとともに、紙芝居やワークショップ

によって身近な存在である“食品”をテーマに環境活動に興味を持っていただくための機会を提供しました。



当社グループの展示ブース



環境配慮製品の紹介

出張授業

日清製粉グループでは、子どもたちの生活に身近な小麦粉や食品などを題材とした環境教育プログラムの提供を通じて、子どもたちの環境学習を応援しています。



みどりの小道 環境日記への協賛

(財) グリーンクロスジャパンが主催する「みどりの小道」環境日記に、2010年度から協賛しています。



環境日記の表紙

株主の皆様と

個人株主様向け工場見学会

(株) 日清製粉グループ本社では、個人株主様を対象とした工場見学会を、2013年9月に日清製粉東灘工場、2014年3月に日清製粉鶴見工場で実施しました。いずれも、多くの株主様からご応募いただき多くの株主様と同伴者様にご参加いただきました。両工場見学会では、小麦粉の製造から出荷までの工程を実際にご覧いただきました。また質疑応答の時間にはご質問や貴重なご意見をいただき、有意義なコミュニケーションを図ることができました。



東灘工場見学会での見学の様子

ステークホルダーの皆様への責任を果たす

日清製粉グループを取り巻く各ステークホルダーに対し、信頼を得るため、さまざまな活動を行っています。

お客様とともに

消費者視点での品質保証

●品質保証責任者制度

工場には生産部門から独立し、消費者視点で品質を保証する品質保証責任者が駐在しており、工場での最終出荷判定を行っています。

●品質保証研修

消費者視点での品質保証活動を推進するため、海外を含む開発・製造・営業の各部門で研修を実施しています。

●セイフティレビュー

新製品や新規原材料、各事業会社で専門知識を持つ技術者が集まり、「セイフティレビュー」という審査で、安全性を総合的に評価します。評価項目は、法令順守、危害要因分析、ユニバーサルデザイン、環境配慮など幅広く、全評価項目の基準を満たすまで改善が行われます。

●新規原材料・新製品についての最終確認

「セイフティレビュー」で承認された新規原材料・新製品は、(株)日清製粉グループ本社のQEセンターで残留農薬等の分析による安全性の最終確認を行い、採用・販売の可否を決定しています。

●食品安全マネジメントシステム等を活用し、製品の品質・安全性を保証

AIB食品安全統合基準やISO22000を導入し、現場審査と食品安全マネジメントシステムの運用による製品品質および製品安全の継続的改善に取り組んでいます。

●品質保証活動に対する第三者診断

製商品の品質設計から製造、品質管理、出荷、保管管理にいたるまで、全段階における製品安全対策が適切に実施されているかを「NQ監査(Nisshin Quality Assurance Audit)」により確認していますが、さらに品質保証活動が適正に行われていることを保証するために、日清製粉グループと利害関係のない第三者による診断を受けています。

●表示の適正性モニタリング

各事業会社が責任を持って表示の適正性の確保に務めるとともに、(株)日清製粉グループ本社が表示の適正性のモニタリングを実施しています。

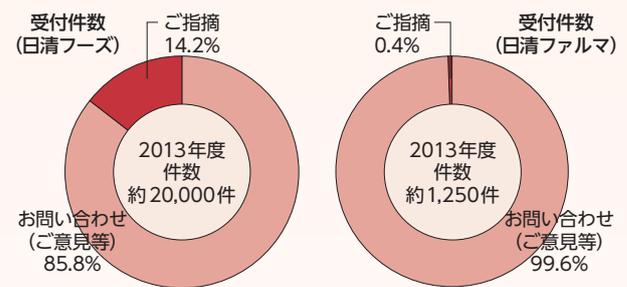
消費者の皆様の声を活かす

●お客様相談室

日清フーズと日清ファルマの家庭用製品についてのお問い合わせやご指摘への窓口として、「お客様相談室」を設置し、常に消費者の皆様にご満足いただけるよう努めるとともに、信頼向上に取り組んでいます。

また、直接お問い合わせのあった消費者の皆様だけではなく、より多くの消費者の皆様にお伝えできるよう、よくいただくお問い合わせをウェブサイト「お客様窓口」に掲載しています。商品カテゴリー、目的別にQ&Aを検索いただけます。

WEB:お客様窓口 <http://www.nisshin.com/customer/>



●品質改善会議

「お客様相談室」は、日清フーズと日清ファルマの新製品やリニューアル製品の発売前に、表示内容のわかりやすさや正確さを消費者の目線で確認しています。また発売後の製品やサービスについて、日清フーズの品質保証・生産・開発研究の各部門担当者を集めて「品質改善会議」を開催し、消費者の皆様からの声を検討し、改善につなげています。

●日清ペットフード お客様相談室

飼い主様からのペットフードのご相談は、ペットに関する知識が必要なため、専用のお客様相談室を日清ペットフード内に設けています。

社員とのかかわり

人間性を尊重した働きやすい職場づくり

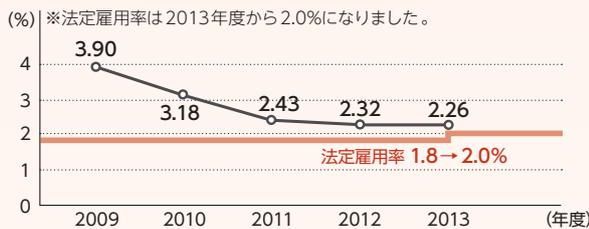
人種・国籍・性別・年齢・障がいの有無をはじめ、価値観・宗教・信条等の違いを認め合い、お互いを尊重し合う職場づくりを目指し、人権啓発研修をはじめとした活動を推進しています。

●障がい者の雇用促進

日清製粉グループでは障がい者の雇用に取り組んでおり、2013年度の(株)日清製粉グループ本社の障がい者雇用率は、法定雇用率2.0%を上回る2.26%となりました。また、当社グループ主要各社*合計の障がい者雇用率は2.14%となっております。今後も引き続き障がい者の雇用拡大に努めていきます。

* (株)日清製粉グループ本社、日清製粉(株)、日清フーズ(株)、日清ペットフード(株)、日清ファルマ(株)、日清エンジニアリング(株)、日清アソシエイツ(株)の7社に、2010年度より、オリエンタル酵母工業グループ、NBCメッシュテックグループを加算。

障がい者雇用率 [(株)日清製粉グループ本社単独]



●次世代育成支援対策推進法への取り組み

グループ各社では、社員が仕事と育児を両立しやすい環境を整備すべく、「次世代育成支援対策推進法に基づく行動計画」に取り組んでおり、子育て支援対策に取り組む企業として認定を受けています。



グループ各社の認定取得状況

取得年	取得会社名
2007	(株)日清製粉グループ本社、日清製粉(株)、日清フーズ(株)、日清ファルマ(株)、オリエンタル酵母工業(株)
2008	大山ハム(株)
2009	(株)日清製粉グループ本社、日清製粉(株)、日清フーズ(株)、日清ファルマ(株)
2011	(株)日清製粉グループ本社、日清製粉(株)、日清フーズ(株)、日清ファルマ(株)、オリエンタル酵母工業(株)
2012	オリエンタル酵母工業(株)
2013	(株)日清製粉グループ本社、日清製粉(株)、日清フーズ(株)、日清ファルマ(株)
2014	オリエンタル酵母工業(株)

直近の主な取り組み内容

[(株)日清製粉グループ本社、日清製粉(株)、日清フーズ(株)、日清ペットフード(株)、日清ファルマ(株)、日清エンジニアリング(株)、日清アソシエイツ(株)、日清製粉プレミックス(株)]

- ・短時間勤務、所定外労働の免除を子供が小学校就学前まで利用できるようにしました。

- ・短時間勤務の就業時間、終業時刻のバリエーションを増やしました。
- ・育児に関して利用できる制度について相談できる窓口を設置しました。
- ・出産前の社員とその上司に育児に関する制度を説明し、制度を利用しやすいようにしました。

●人権啓発の取り組み

日清製粉グループはお互いの人間性を尊重した働きやすい職場づくりを目指して、人権に対する意識を高めるために、専門部署を設置しています。人権啓発室では、すべての役員・社員を対象に毎年人権啓発研修を実施しています。2013年度は「障がい者と人権」をテーマに、身近な問題として人権を考える研修を実施しました。

また、毎年の人権週間行事の一環として、人権啓発標語の募集を行っており、従業員およびその家族から毎年多くの作品が寄せられます。2013年度は約2,400点の応募がありました。

人権啓発標語優秀作品

- ・私が蒔いて あなたが育て みんなで咲かせる 人権の花
- ・嫌なこと されてもしない 強い意志 みんなで持とう 人権意識
- ・どうしたの? 小さな変化を見逃さず みんなで楽しく 明るい職場

社員の安全と健康のために

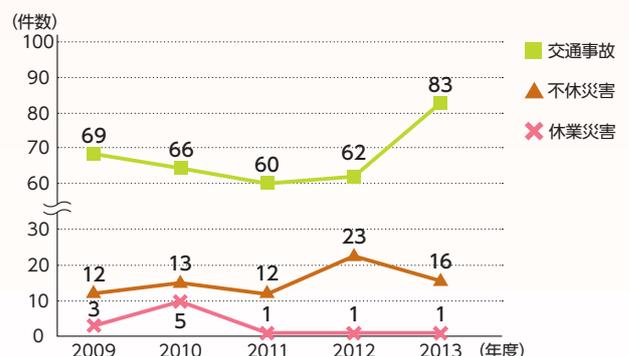
●労働災害の発生状況

安全衛生管理室では、交通事故を含む労働災害発生状況を図解し、再発防止のためのコメントをつけて社内イントラネットに掲示し、職場ごとに災害情報の共有化を図っています。

2013年度の休業災害は低いレベルを維持し、不慮災害は2012年度より減少しました。

交通事故は交差点手前での追突、駐車場内での接触等、軽い物損事故がほとんどでしたが、件数は増加しており、安全衛生管理委員会などを通じて注意を喚起しています。

労働災害発生状況の推移



健康で豊かな社会のために

日清製粉グループは、よき企業市民としての責任を自覚し、地域社会のみならず、広く社会に対して積極的に貢献活動を行い、豊かな社会の実現に寄与します。社員は地域行事の参加などをはじめとして、地域社会との交流を深め、友好・親睦を図るとともに、広く社会貢献に努めています。

食生活の向上と改善を目指して

公益財団法人食生活研究会への支援

(株)日清製粉グループ本社が支援している公益財団法人食生活研究会は、「健康で豊かな食生活の向上に貢献する」との理念のもとに、食料及び食生活に関する調査研究、研究者又は研究機関への支援等を通じて、社会公共の利益に寄与する」ことを目的として、食料及び食生活に関する基礎的研究に対しての研究費の助成や研究成果の刊行、講演会の開催等を行っています。

また、日本の大学・大学院や研究機関等の留学生を支援する事業を行っています。日本の良き理解者として母国と日本の“架け橋”の役割を担える有為な方々に対して、日本において充実した勉学や研究に勤しむことができるよう奨学金を支給するものです。2013年度は、ベトナムと、タイから留学中の2名の学生に奨学金を支給しました。



奨学金支給の決定通知書授与式

食をつくる楽しさ・大切さを伝える

●フラワー手づくり教室[®]

パンをはじめとした小麦粉料理の講習を月に数回開催しています。小学生を対象に、手づくりの楽しさを伝える特別教室の開催や、学校の授業、公民館などの催しに、専門の講師を派遣する出張講習などを提供しています。

●ふれあいの会製パン講習会

オリエンタル酵母工業食品開発センター(大阪)では、地域の小学生と保護者を対象に、イーストの歴史を学びながら楽しくパンづくりを行う会を開催しています。

全国高校生料理コンクールに協賛

全国高等学校家庭クラブ連盟(FHJ)主催・日清製粉グループ協賛で、「全国高校生料理コンクール」を、年1回開催しています。2013年度で第44回を迎え、第7回から毎年協賛しています。



最優秀賞
「徳島の食材にこだわった和風ガレット」

健康で豊かな生活の再建のために

日清製粉グループは、東日本大震災の直後より、皆様が一日でも早く平穏な生活に戻れることを願い、義援金や支援物資をお届けしてきました。岩手県、宮城県、福島県で現地の方やNPOと交流しながら、支援を継続しています。

●復興支援セミナーを開催

被災地が直面する課題や講師の体験に当社グループ社員がふれる機会として、再建を目指す事業者をお招きした社内セミナーやドキュメンタリー映画の上映会を開催しています。

●交流フィールドワーク・ボランティア活動

岩手県、宮城県、福島県を中心とした多様なフィールドワークやボランティア活動を通じて、地域の方々と当社グループ社員がつながる活動を続けています。



漁港でのお手伝い



旧 鷲住居駅でのフィールドワーク

神戸スイーツ・コンソーシアムへの協賛

「神戸スイーツ・コンソーシアム (KSC)」は、社会福祉法人プロップ・ステーションが中心となり、「スイーツの世界で活躍するチャレンジド (障がいのある人) を生みだそう!」というミッションを掲げているプロジェクトです。日清製粉は、社会福祉法人、行政、メーカー、卸売業などさまざまな支援者とともにKSCに協賛しています。お菓子づくりには欠かせない小麦粉が、チャレンジドと社会をつなげる役割となることを目指しています。

豊かな生活文化への貢献

日本フィルハーモニー交響楽団夏休みコンサート

(株)日清製粉グループ本社は、「日本フィルハーモニー交響楽団夏休みコンサート」に1978年以来、毎年単独協賛を続けています。親子で音楽をより身近に体験していただける場となることを目指し、クラシック音楽の入門編として親しまれています。



日本フィルハーモニー交響楽団

シルクスクリーン国際版画ビエンナーレ展

NBCメッシュテックは、メッシュを利用したスクリーン印刷の普及をはじめ、印刷技法・表現の向上、作家の育成、芸術・文化活動への貢献を目的に、「シルクスクリーン国際版画ビエンナーレ展」を開催しています。第4回を迎えた2013年は、応募作品240点の中から、準大賞2点、NBCメッシュテック賞2点、優秀賞3点、国際展賞6点など合計13点が入賞しました。



作品の展示会の様子

製粉ミュージアムの取り組み

開館1周年記念「感謝の集い」を開催

製粉ミュージアムでは、2013年11月12日の開館1周年を記念し、これまでにご来館いただいた方や地域の皆様へ感謝の気持ちをお伝えする「感謝の集い」を11月30日に開催しました。エントランススペースで行われたセレモニーを皮切りに、新美南吉生誕100周年記念読み語りコンサートや小麦粉風船人形作りワークショップなど、さまざまなイベントを行い、1,500人以上の方にご来場いただきました。



「感謝の集い」のセレモニーの様子

新たなワークショップ「製粉ラボ教室」がスタート

製粉工場稼働している「ロール機」と「シフター」のミニチュア製粉機を使って、小麦から小麦粉をつくる工程を体験できます。まずはミニチュアの「ロール機」を使って、細かい溝の入った2つのローラーで小麦を細かく砕きます。次に粉砕した小麦を「シフター」で小麦粉とふすま*にふるい分けします。これらの様子をご覧いただける体験型ワークショップを開催しています。*小麦粒の表皮のことで、飼料やペットフードなどに使われます



製粉工程を楽しく学習



ミニチュア「ロール機」

「グッドデザイン賞」、「耐震改修優秀建築賞」を受賞

製粉ミュージアムは、2013年度グッドデザイン賞(主催:公益財団法人日本デザイン振興会)を受賞しました。施設全体が調和の取れた意匠を構成しており、地元の観光資源や広く社会教育資産として価値のある企業ミュージアムであることが高く評価されました。また、製粉ミュージアム本館は、「2013年度耐震改修優秀建築賞」(主催:一般財団法人日本建築防災協会)を受賞しました。本館が、耐震性、防災・安全性に優れている点、意匠、バリアフリー、機能性についても十分考慮されている点、建物の維持保全が適切な点、地球環境にも配慮されている点などが評価されました。

●社員食堂で「みちのく応援メニュー」の提供

東北地方の産品を活用した「みちのく応援メニュー」を当社グループの社員食堂で提供しています。また、農産物や手作りのチャリティー販売などを開催しています。



NBCメッシュテックで提供したメニュー



生活の知恵がこめられた手作りエコタワシ

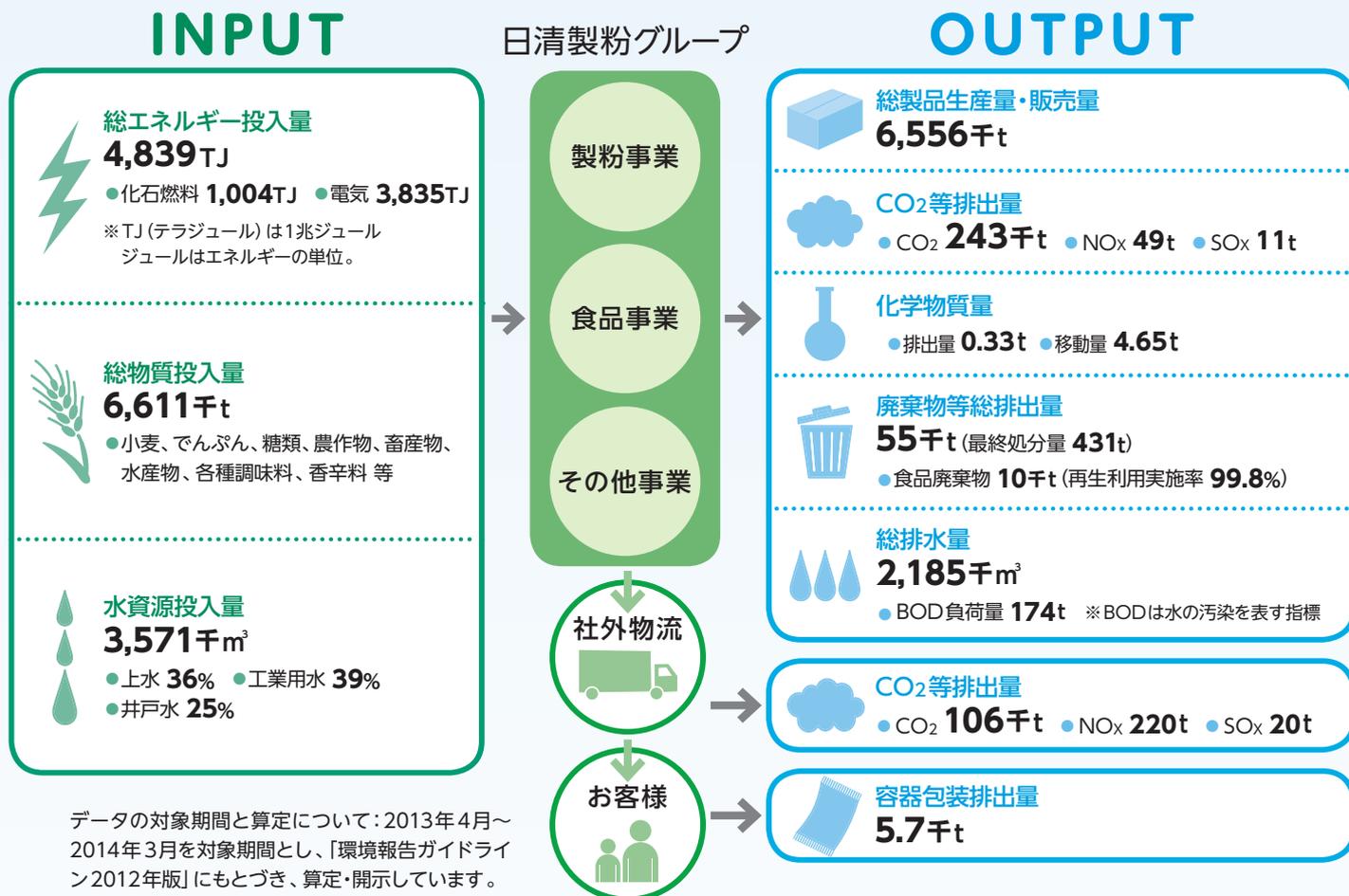
地球環境とのかかわり

企業活動によって生ずる環境への影響は地球環境全体にも影響すること、地球環境保全は企業の存続と活動の必須要件であることを認識し、「日清製粉グループ環境基本方針」に基づき、自主的・積極的に廃棄物やCO₂の排出を削減するとともに、資源やエネルギーの有効活用を図るなどの環境保全活動を推進しています。

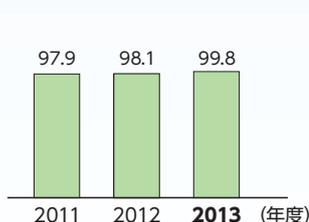
マテリアルバランス

日清製粉グループの事業活動には、さまざまな工程や段階がありますが、主な環境影響として、製造における電力を中心としたエネルギーの使用や水の利用、CO₂や廃棄物などの排出が挙げられます。原料や資源の投入から

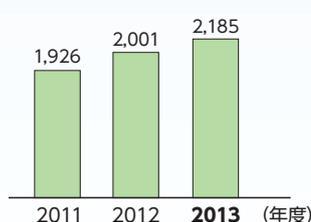
製造や物流、さらにお客様が製品を消費して廃棄するまでの環境影響を把握し、適正な管理に努めることにより、私たちの事業や製品からの環境負荷をなるべく少なくできるようにグループ全体で取り組んでいます。



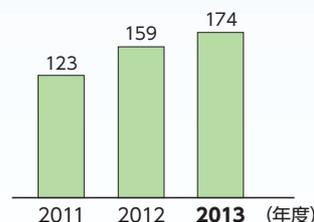
食品廃棄物の再生利用等実施率の推移 (%)



総排水量の推移 (千m³)



BOD負荷量の推移 (t)



環境マネジメント

環境担当取締役のもと、グループ環境基本方針に従って、環境に配慮した経営を推進しています。

工場・研究所・営業部署などのオフィスも含めて、ISO14001統合認証を取得し、外部審査や内部審査などを通じて、EMS（環境マネジメントシステム）の運用状況を確認しながら、継続的な改善を続けています。さらに独自の厳しい基準に基づいたグループ環境監査により、環境に関連し

た法令遵守や目標の達成状況などを確認しており、近年の改善命令や改善勧告の件数は低い水準を維持しています。

グループ環境監査実績

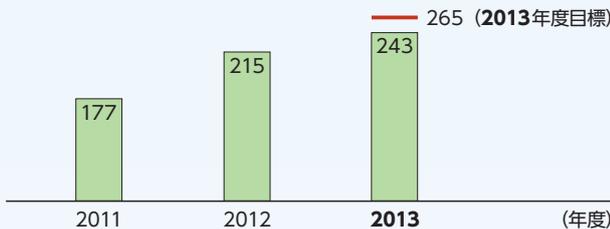
年度	実施事業会社数	実施事業場数	監査結果	
			改善命令	改善勧告
2011	13	30	1	3
2012	10	30	1	1
2013	12	23	1	1

地球温暖化防止

2013年度のCO₂排出量は、新規取得海外子会社の排出量の算入と生産量の増加の影響により、前年に比べて増加しましたが、グループ全体の目標は達成することができました。工場では省エネ設備の導入や電力利用の徹底的な見直しを行い、オフィスでは空調や照明、OA機器

グループのCO₂排出量（輸配送は除く）（千t-CO₂/年）

2012年以降は国内の原子力発電所の停止に起因した電力排出係数増加の影響を含みます。



の省エネルギー化推進など、グループ全体で削減に取り組みました。また、国内の使用電力は一部をグリーン電力で調達しました。

再生可能エネルギー設備の導入

日清製粉鶴見工場と日清フーズ館林工場は、売電を目的とした太陽光発電設備を設置しました。鶴見工場の太陽光発電設備では、一般家庭の約160世帯分の年間消費電力を発電し、火力発電に比べて、年間約250トンのCO₂を削減することとなり、社会全体の環境負荷低減に貢献しています。



日清製粉 鶴見工場の太陽光パネル

廃棄物削減

製造部門での生産効率の向上や手順の見直し、営業部門での需給や在庫管理の強化など、グループ全部門で排出物の発生抑制に積極的に取り組みました。あわせて、肥料や飼料原料としての資源のリサイクルや有効活用などに積極的に取り組んだ結果、2013年度の廃棄物最終処分量は、2000年度の水準から98.2%の削減となりました。

グループの廃棄物最終処分量



生物多様性への取り組み

日清製粉グループの事業や製品に自然の恵みは欠くことのできないものです。認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラストや公益信託経団連自然保護基金への協賛、地域の自然保護活動への参加などを通じて、将来にわたり、自然の恵みが人々の健康で豊かな生活づくりの支えになるよう、取り組んでいます。



霧多布湿原：多様な生物を育む重要な湿地としてラムサール条約に登録されています。

確かな技術で健康と信頼をお届けします

日清製粉グループは、「健康で豊かな生活づくりに貢献する」という企業理念のもと、常にお客様に最大の満足を得ていただくため、生活者・事業者のニーズを的確に把握し、信頼をベースに安心・安全かつ高品質の新製品や新サービスの開発と提供に務めています。

北海道産地粉100%の「ゆめ飛龍」を発売

日清製粉は、中華麺用粉新製品として、北海道産地粉を100%使用した「ゆめ飛龍」を発売しました。麺に特化した日本最大規模の展示会「NOODLE WORLD 2013」での試食では、「ゆめ飛龍」製品の特長である強靱なコシと、滑らかな触感、鮮やかな色調と、北海道産小麦ならではの豊かな風味を堪能いただきました。

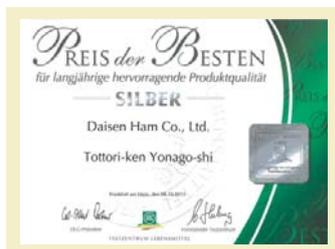
さらに、12月には国内産小麦の消費拡大に寄与する継続的な販売促進活動について、「フード・アクション・ニッポン・アワード 2013」販売促進・消費促進部門の優秀賞を受賞しました。



「フード・アクション・ニッポン・アワード 2013」で受賞した国内産小麦を使った小麦粉

ドイツ農業協会主催の国際品質競技会で金賞16個受賞

大山ハムは、ドイツで開催されたドイツ農業協会主催の2013年国際品質競技会に出品し、金賞16個、銀賞4個を受賞しました。中でも、肉のうまみを生かして表面を焼き上げた「カントリーロースト(スライス)」は、9年連続での金賞受賞となりました。同競技会の審査では、外観、パッケージ状態、切断面の色、原材料などの配合、食感、香りおよび味など約200項目において満点の製品が金賞となります。また、大山ハムは、優秀な成績を10年連続して収めた企業に贈られる「シルバー賞」を通常より1年早く受賞しました。



ドイツ農業協会 (DLG) より「Award for the Best シルバー賞」を受賞

「10万人が選ぶ フローズン・アワード2013」で大賞を受賞

日清フーズの「マ・マー 弾む生パスタ クリーミーボロネーゼ フェットチーネ」は、(株)日本アクセス主催の「10万人が選ぶ フローズン・アワード2013」冷凍食品部門で大賞を受賞しました。冷凍食品部門には消費者の皆様から約14万5千件もの投票があり、さらに食の専門家やマスコミ代表者による試食審査を経て、「10万人の消費者と食の専門家が選ぶフローズン業界最高の賞」として本商品が選ばれました。



「マ・マー 弾む生パスタ クリーミーボロネーゼ フェットチーネ」

各種展示会でプラントエンジニアリング技術を紹介

日清エンジニアリングは、2013年6月「FOOMA JAPAN 2013国際食品工業展」に出展し、トレーサビリティに対応した工程管理システムをはじめ、AIB^{*1}やFSSC22000^{*2}に対応した工場建設を紹介しました。

また、10月には「粉体工業展大阪 2013」にて、ナノ粒子製造を含む粉体受託加工、企画から施工・保守



「FOOMA JAPAN 2013 国際食品工業展」での展示ブース

まで工場建設をトータルにサポートするプラントエンジニアリングを紹介しました。

※1 アメリカ製パン研究所。食品安全衛生管理に関する検査統合基準を提唱。
 ※2 国際食品安全イニシアチブにより承認された食品安全の認証スキーム。

「食品開発展 2013」に出展

日清ファルマとオリエンタル酵母工業は、2013年10月に開催された「食品開発展 2013」に共同出展しました。

日清ファルマからは、同社独自の食品素材とその素材を使った製品化までを一貫して提案しました。オリエンタル酵母工業からは、機能性食品素材、各種食品分析サービスのほか、果物や野菜のカット・スライス後の変色を防ぐ品質向上剤などについて提案しました。さらにパン酵母由来機能性食品素材β-グルカン「BBG」のセミナー発表を行い、来場者の理解を深めました。



「食品開発展 2013」での出展の様子

日本臨床獣医学フォーラム年次大会 2013に出展

日清ペットフードは、2013年9月、「第15回 日本臨床獣医学フォーラム年次大会 2013」に出展しました。ペットの小型化・高齢化・室内化といった日本固有の飼育環境に起因した疾病に着目し、大学との共同研究や動物医療機関での臨床試験などを経て、厳格な品質管理のもと製造した犬・猫用の「国産」療法食「JPスタイル ダイエティクス」ブランドの製品を、獣医師

や獣医学生、さらには一般のペット飼い主の方々にわかりやすく紹介しました。



犬用食物アレルギー対応食「アレルギーセレクトカット」

猫用ストルバイト尿石症対応食「ストルバイトブロック」

第40回国際福祉機器展に出展

NBCメッシュテックは、2013年9月に国際展示会「第40回国際福祉機器展 H.C.R.2013」に出展し、新規ウイルス対策技術「Cufitec®（キュフィテック）」を活用した製品を提案しました。Cufitec®は、さまざまな素材の表面にウイルスや細菌を抑制させる機能を付与する技術であり、感染症の原因を拡げないという特長があります。Cufitec®を活用したマスク、防護服、カウタークロス、拭き取りシート等を使用することで、福祉現場での感染リスクを低減します。



Cufitec® 高機能マスク

コミュニケーションツールのご紹介

ウェブサイト「CSRの窓」

ウェブサイト「CSRの窓」では、本冊子では紹介しきれない詳細な取り組みを紹介しています。

<http://www.nisshin.com/csr/>

- | | | |
|----------------|---------|-----------------|
| ● 社長メッセージ | ● 社会活動 | ● 社会・環境レポート |
| ● CSRのあゆみ | ● 環境保全 | ダウンロード |
| ● ステークホルダーとの対話 | ● 理念・方針 | ● 公益財団法人 食生活研究会 |
| ● 特集 | | |
| ● 経営体制 | | |

その他のコミュニケーションツール

経済、環境、社会性に関する右記の情報を当社ウェブサイトで紹介しています。

- | | |
|----------------|-------------------|
| ● 株主報告（日本語／英語） | ● 児童向けCSRスペシャルサイト |
| ● 決算短信（日本語／英語） | 「こなニレーション」 |
| ● 安心・安全への取り組み | 「こなドベンチャー」 |
| スペシャルサイト | 「こなRPG」 |
| 「あんしんの礎」 | |



日清製粉グループ 社会・環境レポート2014

発行 2014年8月

発行者 株式会社日清製粉グループ本社
東京都千代田区神田錦町一丁目25番地

問い合わせ先 株式会社日清製粉グループ本社
技術本部 環境管理室

TEL.03-5282-6570 FAX.03-5282-6155

ホームページ <http://www.nisshin.com/>



この冊子に使用している用紙の
売り上げの一部は、生物多様性を
保全する活動に寄付されます。



石油系溶剤を植物油系成
分に置き換えた印刷イン
キを使用しています。



印刷工程で有害廃液を出さ
ない水なし印刷方式で印刷
しています。



この冊子は色覚の個人差を問わず、より多く
の人に見やすいカラーユニバーサルデザインに
配慮して作られていると、NPO法人カラーユニ
バーサルデザイン機構により認証されています。



見やすいユニバーサル
デザインフォントを採用
しています。



印刷サービスのグリーン
購入に取り組んでいます。